

# 2015年3月期 決算説明会

2015年5月22日

株式会社SRAホールディングス  
代表取締役社長 鹿島 亨



2015年3月期 総括

2016年3月期 計画

今後の取り組み

# 2015年3月期 総括

# 業績/前年度比較

単位：百万円

本業において  
**増収増益**

売上高  
粗利益  
営業利益  
経常利益

当期純利益は減益

1株あたり**配当金**  
**55円**

〔対前年度15円増配〕

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	差異
売上高	36,535	35,146	1,388
粗利益	6,685	6,487	198
粗利益率	18.3%	18.5%	△0.2%
営業利益	3,047	2,807	239
営業利益率	8.3%	8.0%	0.3%
経常利益	3,813	3,324	488
経常利益率	10.4%	9.5%	0.9%
当期純利益	1,638	2,134	△495
1株当たり 当期純利益	136.34円	168.05円	—

前年度比較

全セグメントで増加

- 開発事業 = 5.0%増
- 運用・構築事業 = 8.9%増
- 販売事業 = 1.1%増

単位：百万円

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	差異
開発事業	19,288	18,364	923
運用・構築事業	3,894	3,576	318
販売事業	13,353	13,206	147
合計	36,535	35,146	1,388

# 売上高/顧客業種別

単位：百万円

	開発事業		運用・構築事業	
	2015年3月期実績	2014年3月期実績	2015年3月期実績	2014年3月期実績
製造業	<b>6,081</b>	5,509	171	147
通 信	522	480	<b>654</b>	481
電力・ガス	674	589	3	-
銀行・証券	<b>5,979</b>	4,039	<b>973</b>	656
生損保	430	778	213	221
流 通	736	763	-	26
大学等	<b>1,349</b>	972	834	809
その他	3,511	5,233	1,043	1,235
合 計	19,288	18,364	3,894	3,576

〔開発事業〕 …5.0%増

- 前年度比較 〔増加〕 … 銀行・証券、製造業、大学

〔運用・構築事業〕 …8.9%増

- 前年度比較 〔増加〕 … 企業向け  
〔微増〕 … 大学関連

## 〔販売事業〕 …1.1%増

- 前年度比較〔微増〕…（株）SRA：微増、（株）AIT：横ばい

### （株）A I T 販売事業 売上高

単位：百万円

2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	差異
10,245	10,161	83



## 前年度比較

### 本業のすべての指標で増益

- 粗利益 3.1%増
- 営業利益 8.5%増
- 経常利益 14.7%増

#### 〔増益要因〕

- ・ 売上増に伴う粗利益の増加
  - ・ 収益向上施策の徹底
  - ・ 販管費の効率化
  - ・ 事業投資に係わる営業外収益（為替差益等）の増加
- 当期純利益 = 株式会社SJIの株式について  
投資有価証券評価損を特別損失に計上し減益

## 参考：キャッシュ・フロー

	2015年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	3,290	2,131
キャッシュ・フローマージン (%)	9.0%	6.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△1,626	192
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△932	△2,065
現金及び現金同等物の増減額 (百万円)	883	411
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	8,792	7,909

### <主な要因>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - プラス要因：税金等調整前当期純利益2,981百万円、投資有価証券評価損825百万円  
売上債権の減少715百万円等
  - マイナス要因：法人税等の支払1,125百万円、たな卸資産の増加729百万円等
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - プラス要因：貸付金の回収443百万円、投資有価証券の売却255百万円等
  - マイナス要因：投資有価証券の取得940百万円、貸付898百万円等
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - プラス要因：ストックオプション行使80百万円等
  - マイナス要因：配当金の支払682百万円、長期借入金の返済300百万円等

売上高：5.1%増

収 益：すべての指標で増益

単位：百万円

	2015年3月期 実 績	2014年3月期 実 績
売上高	16,833	16,016
粗利益	3,521	3,276
営業利益	1,548	1,110
経常利益	2,656	1,868
当期純利益	1,447	1,350

# 参考：グループ会社実績

連結会社11社のうち  
SRA、AITをはじめとする  
9社で増収

単位：百万円

		2015年3月期	2014年3月期
A I T	売上高	<b>12,581</b>	12,288
	経常利益	841	830
ソフトウェア・サイエンス	売上高	<b>2,130</b>	2,094
	経常利益	224	211
S R A 西日本	売上高	<b>1,099</b>	1,029
	経常利益	109	90
S R A 東北	売上高	<b>1,161</b>	882
	経常利益	96	67
S R A アメリカ S R A ヨーロッパ	売上高	1,848	2,200
	経常利益	148	313
S R A O S S	売上高	<b>1,451</b>	1,357
	経常利益	113	124
その他の会社	売上高	<b>1,525</b>	881
	経常利益	△5	△26
グループ会社合計	売上高	21,798	20,735
	経常利益	1,528	1,610

# 2016年3月期 計画

# 2016年3月期 計画

単位：百万円

	2016年3月期 計画	2015年3月期 実績	差 異
売上高	37,300	36,535	764
粗利益	7,160	6,685	474
粗利益率	19.2%	18.3%	0.9%
販売管理費	3,800	3,637	162
販管費率	10.2%	10.0%	0.2%
営業利益	3,360	3,047	312
経常利益	3,450	3,813	△363
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,260	1,638	621
1株当たり当期純利益	187.79円	136.34円	51.45円
1株当たり配当金	65円	55円	10円

※2016年3月期計画 販売管理費には「投資」を含む

# セグメント別 売上高

単位：百万円

	2016年3月期 計 画	2015年3月期 実 績	差 異
開発事業	19,700	19,288	411
運用・構築事業	3,970	3,894	75
販売事業	13,630	13,353	276
合 計	37,300	36,535	764

# 主要グループ会社別 売上高

単位：百万円

	2016年3月期 計 画	2015年3月期 実 績	差 異
(株) SRA	17,220	16,833	386
(株) AIT	12,960	12,581	378
国内子会社	4,495	4,425	70
海外子会社	3,720	3,685	35

※連結相殺前の数値



## 株主を中心とする ステークホルダーの期待に応える

株主還元のさらなる充実を目的に

### ■ 1株当たり 配当金

- ・ 2014年3月期：40円
- ・ 2015年3月期：55円・・・15円増配  
中間配当金：17円＋期末配当金：38円
- ・ 2016年3月期：65円（計画）・・・10円増配  
中間配当金：25円＋期末配当金：40円

### ■ 連結 ROE 10%以上を安定的・持続的に確保

- ・ 2014年3月期：12.4%
- ・ 2015年3月期：9.1%
- ・ 2016年3月期：11.5%（予想）

# 今後の取り組み

## 粗利益の確保／粗利益率の向上

- 案件を創出→確実に受注
- オフショア開発の優先活用
- 徹底したリスク管理
  - 納期厳守
  - 高品質
  - 生産効率向上

## 販管費の効率化／販管費率の改善

- シェアードサービスによる効率化  
(SRA、AIT、ソフトウェア・サイエンスの管理業務を  
SRAプロフェッショナルサービスに統括)

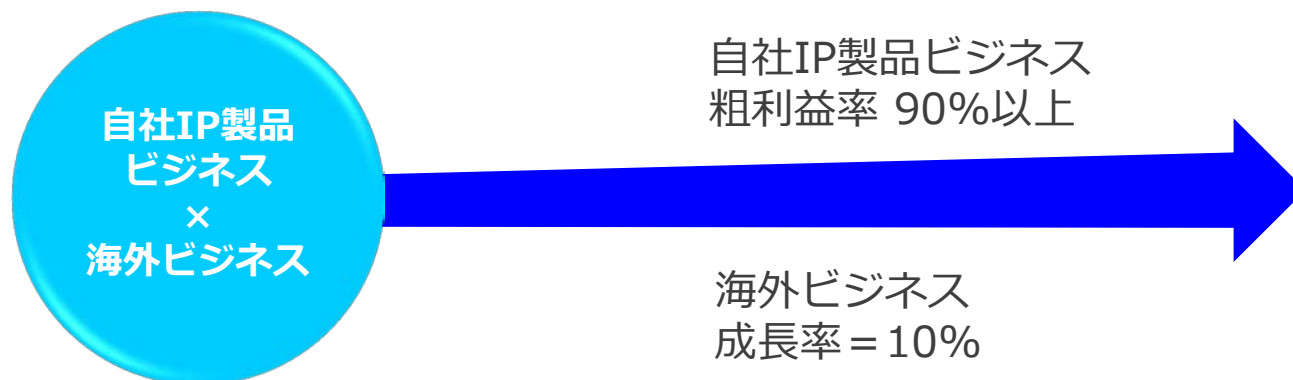
# 「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」の強化

「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」

高い粗利益率が得られる自社IP製品を  
成長市場である海外をターゲットに展開

中長期経営戦略

2011～2014年度 グループとして推進



## cavirin

リリース直後から米国 SugarCRM, Inc.をはじめ  
著名な大企業に導入。引合い増加中

### CUSTOMERS



### PARTNERS



# 「自社IP製品ビジネス」 + 「既存事業の高付加価値化」の推進

高粗利益率の自社IP製品を  
既存ビジネスに活かし、付加価値を高める

〔実績例：自社IP製品 文教総合ソリューション「UniVision」〕

- ・全国の大学への導入実績 50校以上



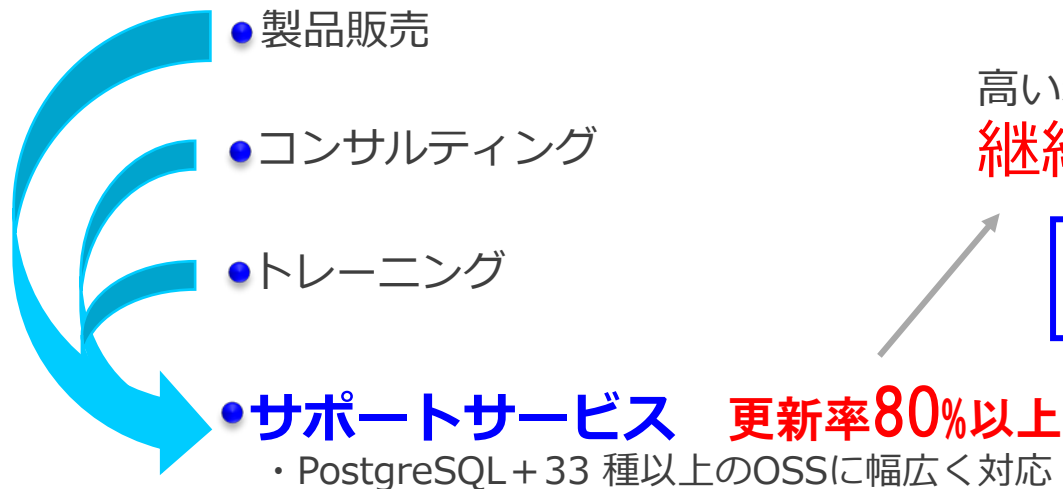
自社IP製品「UniVision」により大学システムを構築。基幹/周辺システム導入後に  
必須である「アプリケーション運用&メンテナンス」（＝高粗利益率）を  
長期的に確保できるビジネスモデル

# 「自社IP製品ビジネス」 + 「既存事業の高付加価値化」の推進

〔実績例：PowerGres／PostgreSQL + オープンソースソフトウェア〕



- 製品販売、コンサルティング、トレーニング ⇒ 「サポートサービス」につなげる
- PowerGres／PostgreSQL + 33種類以上のOSSを対象  
→ システム単位のサポートが可能 → 大型案件受注が可能 → 受注拡大



高い粗利益率が  
**継続的に**得られるストックビジネス

既存ビジネスの高付加価値化

# 「既存事業の高付加価値化」→「新しいビジネスモデルの構築」

マルチプラットフォーム対応  
C++GUI開発フレームワーク



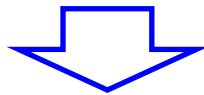
Code less.  
Create more.  
Deploy everywhere.

- ・ PC、組込、モバイル用のアプリケーションをマルチプラットフォーム対応し、効率よく構築できるC++ GUIアプリケーションフレームワーク
- ・ 世界60ヶ国、5,500社を超える採用実績

- ニーズの高いサービス（ライセンス販売、導入支援、トレーニング、開発、保守）を高品質で提供〔サービスをトータルで提供ができるのはSRAのみ〕
- Runtimeライセンス（販売数増→利益増）が見込める「組込」へ戦略的にシフト

**レッドハット株式会社との協業を発表（2015年4月）**  
**SRAは国内初のEmbedded Distributor Partner**

- SRAの強みである  
〔組込開発〕 & 〔オープンソースソフトウェア〕の技術力とノウハウ
- 組込開発で多くの実績を有する「Qt」の活用



**IoT分野へビジネスを展開**

※IoT=従来はインターネットにIT機器だけを接続していたが、家電製品をはじめ様々な「モノ」を接続することにより、新しいサービスを実現する仕組み。世界的に市場拡大が見込まれる分野



# 2016年3月期 計画

単位：百万円

	2016年3月期 計画	2015年3月期 実績	差 異
売上高	37,300	36,535	764
粗利益	7,160	6,685	474
粗利益率	19.2%	18.3%	0.9%
販売管理費	3,800	3,637	162
販管費率	10.2%	10.0%	0.2%
営業利益	3,360	3,047	312
経常利益	3,450	3,813	△363
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,260	1,638	621
1株当たり当期純利益	187.79円	136.34円	51.45円
1株当たり配当金	65円	55円	10円

※2016年3月期計画 販売管理費には「投資」を含む

# ビジネスモデルの 変革



# SRAグループの 進化

## <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。